

愛名やまゆい園 ふれあい映画会



大空は
明日へつづく

みんなの学校

出演:大空小学校のみんな
監督:真鍋俊永 ナレーション:豊田康雄 企画:迫川緑 プロデューサー:中尾登彦 加藤康治 兼井孝之
撮影:大空秋弘 撮影助手:朝倉人 編集:北山晃 編集協力:秦岳志 整音:中嶋泰成 音響効果:高野隆之 題字:谷繁史
製作:関西テレビ放送 配給:東風
2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | F・D・A・M・V・C・R・E 関西テレビ放送
minna-movie.com



ふつうの不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ
みんなが笑顔になる挑戦



すべての子供に 居場所がある学校を作りたい。

大空小学校をめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをつまみコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰も通じ続けることができる学校を作りあげてきました。
すぐに教室を飛び出してしまう子ども、つい友達に暴力をふるってしまう子ども、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行けなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの? そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長、やがて彼は、この学び会で居場所をみつけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとおりには、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちにもたらす。地域にとっても「自分とは違う人」が増える問題を一人ひとりの思いや力を培っていきます。
映画は、日々生まれかわるようになっていく子供たちの高揚の瞬間、ともに学ぶ教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な距離から、ありのままに映し出します。そもそも学びとは何でしょうか? そして、あるべき公教育の姿は? 大空小学校には、そのヒントが隠れています。みんなも、映画館で「学校参観」してみませんか。



日時:平成 30年 8月4日(土) 10:00~12:00(開場 9:45~)
場所:アミュあつぎ 9階「ホール112」(厚木市中町 2-12-15)
入場料:無料

※事前のお申し込みが必要です。

お問い合わせ かながわ共同会 愛名やまゆい園 地域サービス課 大野(おおの) Facebookもチェック  
TEL 046-265-0199 FAX 046-247-0189 Mail ain-chiikiKa@kyoudoukai.jp